



# 働こう障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会  
発行責任者：藤田勝春  
編集責任者：田澤幸子  
発行所：障害者団体定期刊行物協会  
(〒157-0073)  
東京都世田谷区砧6-26-21  
定価 100円



### もくじ

- ①特集「座談会」..... 2・3・4ページ
- ②仲間..... 5ページ
- ③保護者..... 6ページ
- ④トピックス..... 7・8・9ページ
- ⑤掲示板..... 10ページ

けやき作業所デイサービスセンター  
土井 小百合

社会福祉法人  
こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所・生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
●デイサービスセンター TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
●県東ライフサポートセンター TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818  
TEL 028(687)0311
- グループホーム ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
こぶしのときわ荘 TEL 028(662)5533
- グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
すずらんの家 TEL 028(677)4430

# 座談会

## 「けやき作業所」の 青年職員、けやきを視る

出席者

けやき作業所等

けやき作業所デイサービスセンター

県東ライフサポートセンター「ほっとCHA」

けやき作業所生活の場検討委員会

・会場 けやき作業所 会議室 日時 7月15日

総括主任 渡 辺 郁 子 敦 臣 紀

指導員 矢板橋 利 裕

指導員 東海林 東 岡 裕

事務局 東 岡 裕

・台風が迫り来る夜

渡 辺 分場設置から七年、けやき作業所が自立してから三年になります。その間、こぶしの会の旗の下にその理念の実現を追求してきたと思っているところですが、(人権をまもる、普通の暮らしを築く、)地域福祉の創造は、言うに易く、行うに難く大変な思いをして実践を積み重ねてきたと思います。さて、今、支援費制度と本格的制度「改革」という情勢の中、社会福祉法人こぶしの会の第二次長期計画を策定中です。だからこそ、こぶしの会の五年、十年後を

支えるであろうけやきの青年職員としてけやき作業所の現実を率直に話してもらい、けやき作業所の当面している課題を明らかにし、リアルな未来を展望したいというのが今回の座談会のねらいです。よろしく願います。

### 発足の頃の思い出

渡 辺 さて、みなさんはけやき作業所に勤め始めて2年から3年の若い世代ですが、地域福祉を実践し新しいけやき作業所の歴史を築いてきた職員のひとりとして、その苦勞を振り返ってもらえたらと思います。

東 岡 勤め始めた頃は、ただただボランティア精神のみで、障害のある人たちを助けたいという思いだけでした。彼らと一緒にいるだけで楽しくて、発達保障などということは考えもしませんでした。

東海林 僕は何でもメモをするんですが、けやき作業所での三年間で三〇冊くらいになりましたよ。僕の作業所の一番目の仕事はけやきで飼っていた犬の処分だったと書いてありました。(爆笑) 当時、分からないことは何でも聞くようにしていたんですが、あのころは先輩に聞く時間が

あったよね。

東 岡 一人のケース記録を書くのに一晩かけて書いていました。

矢板橋 立ち上げの頃の方がゆっくりに考える機会があった様に思えますよね。

東海林 キャンプの下見なんか、利用者を知ることになった。それだけでなく今まで利用者からいろんなことを教わったような気がします。

矢板橋 老人ホームの実習で決まった仕事を三〇日間やらされていやになった。地元に戻り、障害者福祉をやらうと思いきや情報が集めたが、こぶし・けやき作業所は重い障害者の最後の受け皿として評価が高かったのですね。応募したんです。けやき作業所はあくまで働いていても何をしたいのか分からず達成感がなかった。そのころ新人職員と一緒に一晩かけて職場改善提案書をつくり先輩に提出したときもあったが、「何も分かっている」と一蹴されてしまったんです。その内、所長に話を聞いて、けやき作業所のめざしている(注 1)ことを知った。少しずつ吹っ切れて仕事が見えてきました。

### (注 1)

例えば、労働の場面でのねらいは、①働くことは人生の集大成であること。②本格的な作業(高賃金を保障でき社会的評価を得られるような仕事)こそ働きがいを感じるし、自立生活の保障ともなるもの。③労働は人間発達を保障する内容にすると同時に人権でもある。具体的にはハイコーパック、小玉クリーニング、友遊はがに一般就労をすすめてきた。また、高賃のとりくみではパン屋さん(月一〇〇万円を達成)、給食事業(高賃を保障)のとりくみを生み出している。

重度・重複障害者の活動のねらいとしては、①どんなに障害が重くても大人としての社会参加をすすめていくこと。②どんなに障害が重くても労働の時間を保障する。デイサービスセンターのとりくみや精神障害の日の場づくり等障害に視点を合わせ、活動の中身を工夫していく。

生活の場の取り組みのねらいは、①明日へのエネルギーを蓄える場、②そのためにも依存しながら自立するという自立観を大切にすること。③親亡き後でなく大人としての自立生活の創造。を大切にして援助する。具体的にはまずらんの家、けやきハイツを家族や利用者とい

緒に考えてきた。特に多くの一人暮らしを地域住民の協力の中で支えてきた。

こぶしの会の設立の過程がそうであったように、現実の障害者と家族の地域生活から出発し、その願いを実現してきた運動。このことを背負って県東ライフサポートセンター「ほっとCHA」を設置してきた。

いきがいの場のねらいは、①生活の質の追求・青年サークル準備会という形で発展させていきたいと考えている。みんなで作る作業所の具体化として、自治会活動も単なる親睦団体を脱して、主体的な組織をめざしたい。ここ何年間は、きょうされん全国大会他(全国の風に吹かれる)など研修に力を入れている。職員：提案する専門家として力量を求めている。等々。

けやきの利用者・職員集団の  
現実に直面して

渡 辺 勤め始めた頃のリアルな職場実態がでてきましたけど、他の人はどうでしたか。

また、けやき作業所がデイサービスセンターを伴い、再出発したわけですが。今まで、例えば在宅の一人

暮らしの方の支援をボランティア的にやっていました。一気に要支援の家庭が増え、引越越し・大掃除、夕食の給食など一人暮らしや家庭の支援という仕事が増え、しかも支えた。従来の作業所の中だけという仕事内容が一変したという感じですよ。これが地域福祉なのかという思いでしたが。

東 岡 森下先生の新職員研修を聞いていて、ああそういうこともあるのかという感じ。何にも分からなくて、分からないことをどうきいていいのかも分からず、グループホームへ異動になり責任をもたされて大変さに巻き込まれていったという感じでした。

東海林 僕も最初はアルミ缶つぶしをやり、中部環境の古本のリサイクル。次は、石けんをやれといわれてあくせくしている内に、精神障害者の作業所づくりにかかわっていき何がなんだか分からなかった。そのころ、きょうされんの精神障害者地域生活支援セミナーにいったとおもしろかったことを覚えています。それまでは、正直精神障害者に偏見がありました。第2けやき作業所は無認可の作業所で、臨時職員2名の体制なんです。正直辛かったですよ。

東 岡 グループホームの最初は楽しかった。でも慣れるにしたがって問題がでてきて、とくに精神障害の方の接し方が分からず苦労しました。もつと違う方法があるのかと思いついて仕事をしていました。

東海林 あのころは辛かったと思うよね。でも、そんな一人職場の問題がみんなに見えてきて、グループホームも集団指導体制になっていったよね。

渡 辺 そんな中でも、みんな頑張っていて、仕事に立ち向かっていったのはどんなことが力になっていったのかしら。

東海林 研修や学習が力になって、利用者が変わっていったことが力になっていっていると思います。

最初、夜や早朝に電話をかけてくる利用者がいて、電話にでるのが自分でも同対応して良いのか勉強経験不足の部分がおおきくてとまどいが大きかったです。その方が、家庭環境の影響で家を出て一人暮らしをしたいと何度も相談されていたんです。ですが、正直その人が一人暮らしをしていくことに色々な面で大きな心配がありました。経験者に相談しても「なぜそんなことまで作業所でやらないか」と言われ

たが、自立生活に二人で踏み切ったという感じでした。自立支援のなかで、自分で家計をやりくりしたり、生活保護を受ける中で大切な自動車を手放したりしたけど自転車を利用して制度の手続きをこなしたり、今は大好きな恋人をみつけた。一番近づきたい人が一番うれしい人になっている。今は忙しく課題は沢山あるけれど見通しがつく様になってきたかなあとと思う。先輩に対しても理論で話ができるようになってきたのがうれしい。

矢板橋 以前から主張していたのだけれど、自閉の方のパニックを防止するために落ち着いて過ごせるためと言っても一日中個室にすることに疑問を感じていた。自分の意見も取り入れてくれる状況がでてきたので、新年度になってすぐに会議を開いてもらった。少しずつ活動に参加できてきて、本人と「きょうは一〇個頑張ろうね。」と納得してもらいながらみんなと仕事をするようになってきた。みんなの中で過ごしているといろんなことが分かってきた。人にあるのでなくものにあたっていること。問題行動も変化している。噛みつきょうとして動作だけだったり、つねつねも跡がつかない程度だ。いまはセルブ・みらいで仕事に頑張っている聞いています。

いま、デイサービスセンターに責任を持たされているけど、みんなで計画をつくり、みんなが実践していくことを重視しています。具体的には会議を大切にするのと、マニュアルづくりの方に注いでいます。

東海林 マニュアルって仕事で機械的にならないかな。職員も利用者の本質が見えなくなるんじゃないのかな。それよりも学習を深めることだよな。

### けやきの課題と私の願い

渡 辺 利用者の成長を実際に支えてきたという実感が大きな自信になっているんですね。また、マニュアルづくりという、今までけやき作業所にとって弱かった部分を集団でつくりつつあるということもすごいですね。

さて、このへんでけやき作業所のこれからを語ってもらいましょか。社会福祉法人こぶしの会第二次長期計画が策定中で、障害者福祉をめぐる情勢も踏まえてみなさんの考えるところを伺いたいと思います。

矢板橋 率直に言ってけやき作業所はきょうされんの理念をそのまま実践に移しているという感じがある。理念についていけなくなっているの

ではないか。分からないことも実践の中で確信できるのかもしれないけど、理念と現実の乖離というのはあると思う。長期計画についても同じことがいえるのではないかな。作業所がここまでやらなくてはいけないのか、やっつけていけるかという疑問がある。

東海林 僕は二五年間やってきたこぶしの基本理念は変えないで欲しいと思います。具体的な計画の中では、いまのこぶしでできないことは共同をつくりつつ実現できるのではないかなと思います。第二けやき作業所の認可や精神障害者の生活の場づくりも緊急に求められているけど家族会と共同する中で可能だと思うんですよ。

矢板橋 理念は間違っていないと思うけど、例えば、現実的に三〇人や四〇人も入浴介助をするようになったら制限をせざるを得ないんじゃないだろうか。それでもどんなに重い障害を持っていても受け入れるのか。青年サークルだって自主事業じややりきれないと思う。

東海林 理念は実際に活かされなくては意味がないし、普通の暮らしを創って行くには実際に力が求められるんだと思う。一般の企業では許されないことがけやきには沢山あると

思うよ。それに絵画展に来てくれた利用者者に「絵をプレゼントしてよ。給料沢山もらってるんでしょ。」と言われて何も応えられなかった。同じ仕事をしていて一方は三千円の給料。僕は……。何のためにけやき作業所があるのかと言うことを考え直さなくてはいけないと思うよね。現実に利用者の生活をどう変えていけるのかって。

矢板橋 今、デイサービスセンターでは自主的な学習会を毎月続けています。学習会の度に分担して、レジュメや資料を用意してやっている。今年には内部で学習を深め、具体的に疑問がでてきたところで外部から講師を呼ぼうと思っている。デイは職員が受け身になっては何もできない。意図的に働きかけていかないと放り投げていけることになってしまふ。自閉の人だって情報処理が難しいのだから、少しずつ社会のルールの中で生きていけるように働きかけないと。

東海林 第二けやき作業所でも会議の度に講師を呼んで学習会をしているけど、自主的な学習が必要だね。デイの学習会も第二に知らせてもらえないかい。

渡 辺 時間も一二時を過ぎてしまったのでこの辺で終わりにしたいと

思います。みなさんの歯に衣を着せない話を聞いていて、けやきの課題や今後深めなくてはいけない事も見えてきたように思います。けやき作業所が繰り返し掲げてきた理念は、その実現には現実的な対応が求められていると言ったことが分かりました。かといって、障害のある人たちの人権は後退させてはいけなないと思います。優先順位をみんなが考え、可能な合理化や工夫はしつつ、リハビリテーションの目的である人間の復権を実現しなければと思います。第二次長期計画の策定はこうしたみなさんの本音と切り結んだ議論と計画づくりが求められていると思いました。作業所がここまでやるのかという課題も、障害ある人々は、地域での自立生活を切り開くため、頼りにするのはけやき作業所（こぶしの会）だと思っております。私は、この障害者問題という大きな社会問題を解決するため、自分自身の地域生活支援という専門性の描き方も、例えば新たな社会資源づくりを含めた仕事として見直す必要があるとも思っています。今回の座談会を通じて、民主主義の第一歩は自分の考えをきちんと伝えあうことから始まると思います。語り尽くせなかったことも沢山ありますが、今後とも積極的で建設的な話し合いを築いていきましょう。本日は有り難うございました。

## 『大和撫子だった私の仕事』

小坂 英子

『大和撫子』とは、花が咲き、メキメキと頭角を表現するのです。花のように美しい私は、フラワーアーティスト志望なので、勉強しなければなりません。

アートフラワーを始めてから五年が過ぎ、やっと大人になりました。アートフラワーとは、技術力と表現力をバランスよくシंकロくすると思えました。アートフラワーをやっていると、輝きを増すが、試練の厳しさを味わおうとしています。仕事は、決して甘いことはありません。専門学生時代に『アトリエ・れい』で尊敬する人である柳井礼子先生に師事しても、かなり厳しかったけど、いい刺激になりました。最初は、技術を身につけることに進み、パワーに満ちました。世界に通用するために、自分しかできない技術力と表現力をひたすら磨かなければなりません。「英ちゃん、掃除してもきれいに花が咲けない」と柳井先生に言われました。女力を磨くなんてとんでも

ないと思っていました。

不言実行で活動して、泰然自若で集中してやる事は、一流アスリートも芸能人も一般人も常識です。全く落ち着かない私は、イライラになつて、マイナスだらけだつたと思いましたが、心の中は、『夜叉の舞』という嫉妬です。喜怒哀楽が激しい私は、やはり仕事しても、我慢ができませんでした。アートフラワーの仕事で輝いたはずだつたが、ストレスがたまってしまい、失敗での連続でした。失敗しても、平気だと思っていた私は、成功するまでずっと我慢でした。『不屈の女・美しき大和撫子、小坂英子』は、できる力があるかもしれない。

二〇〇二年四月、『セルブ・みらい』に入り、人との協調を試しながら仕事に打ち込んでみようと思えました。やつぱり精神力で仕事する方が良く思っていました。精神をコントロールするのが難しいと思つた私は、バイタルティが溢れています。清らかな心で仕事しようとするはずですが、職員たちは、「英ちゃんは、心優しいね。きつと助かるかもしれない。」と励まされました。パワーと根性がある私は、仕事に情熱と冷静を感じて

いました。箱折りでは、好きな茶色のフタに夢中です。黒より茶色派の私が明るく優しくしています。茶色の人は、ナチュラルヒーリング的存在です。清楚ではつらつとした笑顔に似合う私がすごく健在です。

ストレス社会では、増えているが、心も体も癒そうと思っています。私の好きな色は、白系、黄系、オレンジ系、ピンク系、赤系、青系、緑系、茶系、金色系党なので、花も葉も生き生きとよみがえろうとしています。花が大好きな私は、子供のような無邪気を思わせながら喜んでいて、癒しています。夕食が終わり、花を見ていると、バラ色の幸せを感じます。

今年からは、苦手だつたフラワーアレンジメントを始めました。しっかりと身に付け、いろいろと挑み続けたいです。そして、嫌いな紫を克服してみたいです。

だから、フラワーアーティストのプロにつながります。私は小学生時代からの克服次第です。

花の精のように、生き生きと女らしく、生きるしかありません。修行するのが大変だけど、かなり至難の技です。花を愛する私は、輝いていくと思っています。



## 休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか？

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ！

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター



# おむすび

保護者  
リレートーク

今回はこぶし作業所、星野健さんのご家族の登場です。

## こぶし作業所との出会いは？

小さい頃、見学に行きました。野沢さんが入所した一年後でしょうか。ここはいい、相性にあっているのではないかと思います、見学したのです。

そして、高等部時代には実習でお世話になりました。上三川産直センターの職員から紹介を受けて、こぶしの荒井さんや高橋さんが見えました。卒業後、すぐこぶし作業所に入りました。半年は送り迎えしてました。

それから、ダウン症の親の会のバザーが二荒山でやっていたとき、こぶし作業所のバザーもやっていた。縁はあったのでしょね。

## 当時の仕事は？

何年か、ベアリングをやっていました。

## 作業について

今の仕事はちよつと難しいので迷惑ばかりかかっていると思います。

できれば、もつと関われる単純作業があったらいいな、と思います。指先が不器用なもので・・・。

## 印象に残ったことは？

バザー、キャンプ、旅行、どれもが楽しかったです。親同士で話もいろいろしました。どれも力を合わせてやっていましたね。昨年の旅行は良かった。夕日や紅葉もきれいで、健も楽しんでいました。みんなでいけるから楽しい。

## 最近の様子は？

私が朝四時三〇分に起きて、今日も健が缶つぶしができるように缶を集めてくるんですよ。本人が安心して、仕事ができることが一番です。

## 将来は？

本人がにこにこ暮らせればいいです。悲しい顔はいやですね。グル



## 8月こよみ

全体  
8月31日 全職員・保護者支援費学習会

12日(月)～18日(日) 夏期休暇

### こぶし作業所

8月1日(木) 職員会議  
2日(金)～3日(土) キャンプ  
12日(月)～18日(日) 夏期休暇  
18日(日) フリーマーケット  
19日(月) プール(那須野が原ファミリープール)  
25日(日) 問屋町びっくり市

### 第2 けやき作業所(予定)

12日(月)～18日(日) 夏期休暇

### サポートセンター(予定)

8月7日(休) カラオケDAY  
支援会議  
11日(日) 日曜開所  
13日(火)～16日(金) お盆開所  
22日(休) 職員会議

けやき・けやきデイサービスセンター  
8月3日(土) 会議

1Pホームにはいつかは入れたいと思います。元氣なうちは家から通っていきるのが理想です。どうもありがとうございました。

僕たちのこと  
もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
028-687-1040

## こぶし作業所 ボランティア大募集!

1. 日曜作業所
2. 二荒山バザー

お気軽に  
どうぞ

お問い合わせ こぶし作業所  
☎028 (662) 1911

県東ライフサポートセンター  
ほつとCHHA  
♪カラオケDAY始めました♪

県東ライフサポートセンターでは地域交流行事として前年度より近隣の作業所等に声をかけ毎月一回忘年会、お花見、いちご狩り、映画鑑賞会などの季節に合わせたレクリエーションを行って来ました。今年度からは地域交流行事に併せて六月から当センター二階のリラックスルームを開放し、カラオケDAY”として月に一回みんなでカラオケを楽しんでいます。リラックスルームとは自分のペースでのんびりゆったりくつろげる憩いの場で、普段はそこでお昼寝をしたり、読書をしたリ、テレビを観たりと自由に自分の時間を過ごせる場所です。

カラオケDAY当日は参加費無料で出入り自由、午前十一時から午後三時まで歌いたい放題になるのでもいつも穏やかなリラックスルームがこの日はガラリと様子を変えます。カラオケの機械はフル回転、歌によってはにぎやか

になったりしんみりしたり、そして何よりも変わる(?)のは・・・、普段物静かなメンバーさん達へ皆さんの歌の上手さ、レパトリーの広さにスタッフ一同聞き惚れ、いつもと違う姿にびっくりしています。メンバーさんに負けていけないとばかりにたまーにスタッフの美声(??)も飛び出しますが、参加者みんなで和気あいあいとカラオケDAYを楽しんでいます。

これからも当センターでは地域で生活しておられる精神障害者の方に楽しんで頂けるレクリエーションを企画し、地域に親しまれる存在になれるよう努力していきたいと思っておりますのでたくさんの方の参加をお待ちしています。

ひとり暮らしの方向けのアパート  
など物件募集中

県東ライフサポートセンターでは、地域で暮らす精神障害をお持ちの方々様々な生活支援を行っています。最近センターに「病院から退院してサポートセンターの支援を受けながら、アパートでひとり暮らしがしたい」「いつまでも親に迷惑をかけたくないので

家を出て自立し、地域で単身で生活したい」等々のご相談が増えてきており、そのような方々が安心して暮らせる以下のような物件をご存知の方がございましたら県東ライフサポートセンターまでご連絡いただけると幸いです。よろしく願います。

場所：芳賀郡芳賀町稲毛田・祖母井近辺  
家賃：二万円位

〒321-3303

芳賀郡芳賀町稲毛田1532

県東ライフサポートセンター

ほつとCHHA

TEL028-687-0311

FAX028-687-0325



後援会会員拡大にご協力をお願い致します

後援会では各種事業活動に取り組んでおります。

こぶし作業所  
フリーマーケット 出店  
びっくり市  
☎028(662)1911

けやき作業所  
地域のイベント出店  
☎028(687)1040

セルフ・みらい  
地域のイベント出店  
☎0285(81)1155

真岡ロータリークラブ様より

楽器のプレゼント



楽しい交流のひとつ

去る五月三十日五月晴れの中、セルフ・みらいにたくさんの方々がプレゼントされました。それは、バラフォン・シケレ・カリンバ・ティンクリック・カジャールなどバリ島やアフリカの打楽器を中心にした民族楽器の数々です。贈ってくださったのは、真岡ロータリークラブの皆様です。会長の篠原さんは「みらいの会長さんをはじめ皆さんが、絵画展やコンサートなどで一生懸命活動している姿に感動しました。私たちにも何か応援できるこ

とはないかと考え、利用者の皆さんが仕事に疲れたり、余暇の活動に使えるものとして、普段余り目にしたり手に触れることができないような珍しい楽器をプレゼントすることにしました。」とお話してくださいました。贈呈式に向けて、楽器の選定や当日の打ち合わせに役員・担当の方々が何度もみらいに足を運び準備を進めてくださいました。当日は、クラブ会員さんが五十名参加し、贈呈式の前には駐車場の整備とウッドデッキのテーブルを設置してくださいました。十二時からみらいの会・保護者の方々も加わり総勢百名を超える参加者で食堂はあふれるほどでした。ロータリークラブの移動例会のプログラムの中で贈呈式は行われ、住谷常務と、利用者代表の小坂さんがお礼の言葉を述べました。また、今回特に楽器の選定にお力添えをいただいた壬生町在住のピアノスト田中純子さんが出席してください、やはりロータリークラブ会員さんから贈られたピアノで「エリーゼのために」を始め数曲演奏してくださいました。昼食は、お弁当のご注文をいただき、参加者みな

なでちょっと豪華な食事となりました。会員の方とおしゃべりをしたり、握手を交わしたり駐車場に設置したばかりのテーブルを囲んでしばらく交流することができました。いつかこの楽器でコンサートが開けたらいいと考えています。本当にありがとうございました。



地域の方とのふれあいが広がりました

セコム損害保険株式会社

宇都宮支社

宇都宮サービスセンター

〒320-0811 宇都宮市大通り3-1-17 大津屋ビル

TEL.028-633-3254 FAX.028-634-5739

※自家精米の店

・委託精米受賜ります・

関口米穀店

宇都宮市峰2丁目11-23・TEL (633) 0061番



# モンゴル絵画展

七月一三日から一六日まで「道の駅はが(友遊はが)」にて絵画展を開催しました。

後援会役員・保護者会を中心に職員を含め、実行委員会形式で進めてきました。

一二日はこの度の絵画を寄付していただいたモンゴル親善都民の会代表の東岡氏から、搬入の後に絵画の説明をしていただきました。モンゴルについての知識を得ることができ参加者一同、身近な国モンゴルとなったようです。レセプションでは地域の方の参加で大いに盛り上がりました。

宣伝の遅れがありました。役員の方呼びかけていただいたことで、絵画の先生をはじめ連日来場者があり、特に最終日は台風にもかかわらず下野新聞を見た方が遠くからも来場され

ました。素晴らしい絵に来場者も満足される方が多く、実行委員会の中で再度絵画展を企画したいという声も上がっています。

今回の企画により、後援会役員、保護者会が一丸となって取り組めたことに東岡氏への感謝とともに協力していただいた皆様方にもあわせて感謝いたします。(横山)

## モンゴルの自然 描いた絵画展示

きょうまで

【芳賀】チャリティー現代モンゴル絵画展が十六日まで、「道の駅友遊はが」で開かれている。

同展は、知的障害者通所授産施設「けやき作業所」後援会の主催。同作業所の運営資金の援助とモンゴルとの文化交流が目的。販売される絵画は、同作業所と縁のある「モンゴル親善都民の会」を主宰する東岡(あずまお)か(守さん)さん(西東京市)が同後援会に寄付した。

会場には、モンゴルの一流作家によるゴビ砂漠



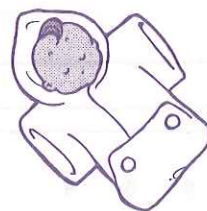
や高原、アルタイ山脈など、回国ならではの雄大な油彩、水彩六十七点と東岡さんが撮影した写真

友遊はがで開かれているチャリティー現代モンゴル絵画展  
などが展示され、同作業所の関係者やドライブ途中で立ち寄った人たちの目を惹きつけている。

下野新聞より

## おめでとうございます

七月一九日、こぶし作業所の職員、上代弘之さんの第一子が誕生いたしました。名前は将貴(まさき)君です。



# いよいよ 始まる

恒例…こぶし作業所  
チャリティーバザー  
一〇月一三日(日)  
二荒山神社境内

品物提供にご協力を  
お願いいたします

## きょうされん賛助会員募集!!

### 賛助会員になると

- ①福祉の新しい動きがわかる。
- ②「TOMO」が購読できる。その他盛り沢山! 賛助会費は1口3,000円です。

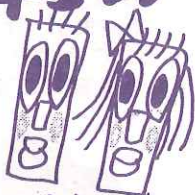
事務局: けやき作業所 TEL 028(687)1040まで

## ボランティア大募集

箱折り、リサイクル  
作業  
弁当配達のお手伝い  
作業ボランティア  
...etc

☆仲間と一緒に  
楽しい時間を過ごしましょう☆

# セルブ みらい



# ・ 掲 示 板 ・

## こぶしだよりに 広告を載せて みませんか？

こぶしだよりはあなたとこぶしの会をつなぐホットライン

こぶしだよりは、社会福祉法人こぶしの会が発行する機関紙です。  
こぶし作業所、けやき作業所、セルフ・みらいで行う事業、福祉情勢、  
利用者のナマの声、家族の思いを「こぶしだより」で伝えます。

**こぶしだより協賛広告は一口5,000円から。  
名刺大で掲載させていただきます。  
年間掲載は42,000円 とってもお得！**

### お問い合わせ

こぶし作業所	028(662)1911
けやき作業所	028(687)1040
セルフ・みらい	0285(81)1155
ライフサポートセンター	028(687)1311

## おいしい・・・ セルフ・みらいの 日替りお弁当

1個  
500円

### 大好評ご予約承り中！！



お問い合わせ  
**セルフ・みらい**  
TEL 0285(81)1155  
FAX 0285(81)1177

## けやき作業所 にこにこパン屋さん

手づくり、焼き立ての  
おいしいパンです。

例えば、あんパン100円  
**人気商品** ホテルブレッド440円

各種豊富に取りそろえて  
おります。注文票をFAX  
にてお送りしますので、  
お気軽にご連絡下さい。



**けやき作業所**  
直通電話兼FAX  
028(687)1788へどうぞ。